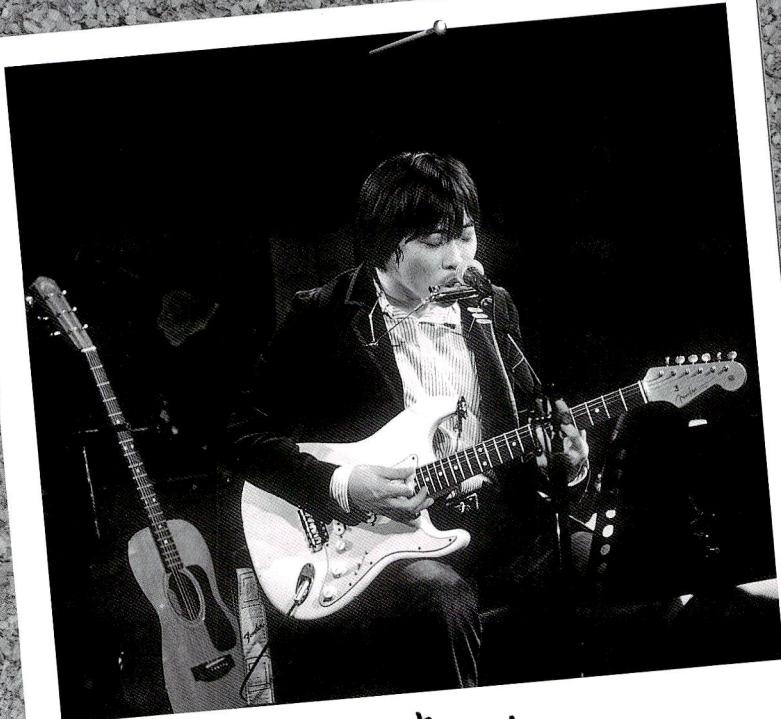




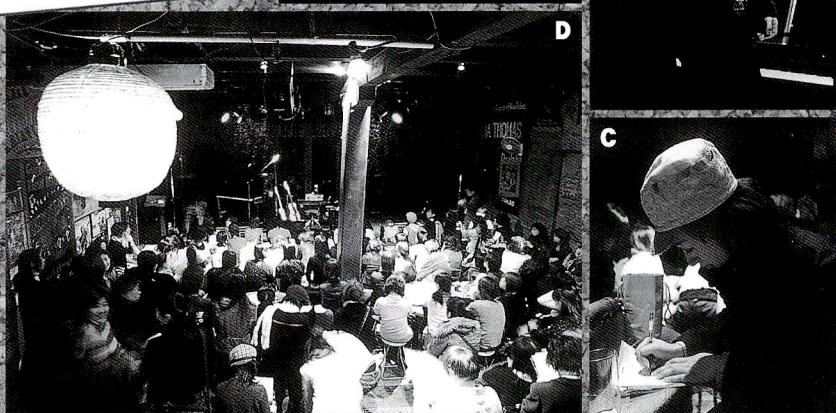
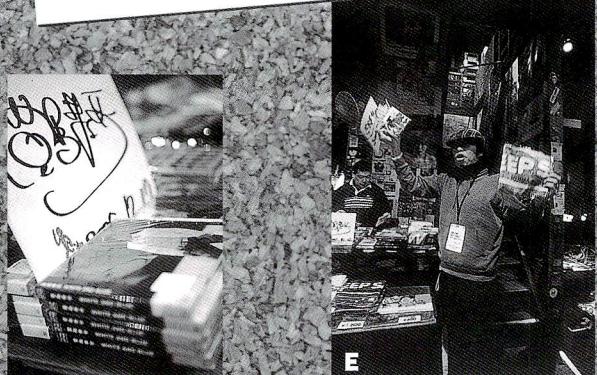
2005.12.17.18

α-Station「SKYDRIVERS RADIO」presents 堂島孝平「オレひとり碟々 2days!」



やっぱり radio の声よりも
Live の声がステキだった

α-Stationのアーティスト番組「SKYDRIVERS RADIO」がスタジオを飛び出し、京都碟々にて2daysライブを実行。バンド形式ではなく相棒はギターのみ、というわけで「今日は一人なんで隙だらけです。なので、笑い声やハンドクラップしてもらうことで僕は救われるんですよ！」なんてMCで笑いを誘いつつ、まずは番組タイトルでもある「スカイドライバー」からライブはスタート。ライブでほとんど演ったことのないレアな楽曲を中心に展開するも、集まったコアなファンにはたまらないセレクトだった様子。途中、番組ではお馴染み堂島孝平の思い入れのあるアーティストを紹介するコーナー「サンキューミュージック」をこの場で公開録音するという隠し球も登場し、いつもは音源をかけるところを、この日は特別に彼がカヴァー。そのアーティストは「お洒落にとんがるカッコ良さに衝撃を受けた」というフリップバーズギター。いつもとは違う、この日にしか観ることのできなかつたライブに、満足げなファンの顔が印象的でした。



α-information

堂島孝平 10th album

「SMILES」2006.02.22 OUT !

TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS 3000円

『こんな音楽があつたらいいな』という個人的ワクワク感を、あまりヒトリヨガリにならないように配慮しつつ、実現させてみました。やりたい放題です。困ったもんです。でも、その結果なのかわかりませんが、なんだかとても微笑ましい瞬間が多く残ったように思います』

■堂島孝平

NOW
PRINTING

A. 「基本的に寒いのは苦手なんで、今日は早めに終わらせようかな、と（笑）なんて芸人チックなトークも炸裂。MCは漫談のような舞台でもありました。B. 彼が最も影響を受けたアーティスト、佐野元春の「I'm in Blue」もピアノ弾き語りでカヴァー。C. ファン歴3年というノゾミさんは大阪からご来場。「α-Stationの『SKYDRIVERS RADIO』は毎週聞いてますよ～」。D. 2daysにも関わらずチケットはソールドアウト。ご覧の通り、スタンディングではなく、腰を落ち着けてドリンク飲みながら…のんびりムードだったのです。E. グッズ即売ブースでは「いらっしゃい～」な市場ノリで声を張る兄ちゃんが、「実家が八百屋なんですよわあ」と、言われハイ、納得。